

2021年1月6日

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会 様

総合社会福祉研究所

理事長 石倉 康次

〔公印略〕

全国福祉保育労働組合

執行委員長 土田 昭一

〔公印略〕

### 「コロナ禍で福祉に働くひとの声アンケート」へのご支援のお願い

新年あけましておめでとうございます。福祉の向上にご尽力されている貴団体にあらためて敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、国民のくらしと命が脅かされています。また、高齢・介護職場では利用者・職員が感染リスクを抱え不安な日々を過ごしています。一日も早いコロナ禍の終息が切に願われています。改めて国・自治体に感染予防対策の強化と感染症の拡大の中でもより安心して高齢福祉・介護が受けられる制度の充実が求められています。

私たちは、新型コロナウイルス感染症のなかでも利用者が安心して利用でき、そこに働く職員が安心して働ける福祉を実現するために、現場で日々感染リスクに備えながら奮闘している職員の声を集める「コロナ禍で福祉に働くひとの声アンケート」に取り組むことにいたしました。アンケートは基本的にはネットアンケートで一切紙媒体は使いません。誰でもQRコード・URLから参加できます。また、コンピュータで随時集計されますので、その都度、結果を共有することもできます。私たちは、このアンケート結果にもとづき、政府にコロナ対策の改善と福祉職員の処遇改善等福祉の充実につなげたいと考えています。

つきましては、この取り組みに対し、下記の事項についてご支援いただきたく、お願い申し上げます。

#### 記

1. 「コロナ禍で福祉に働くひとの声アンケート」の協力団体に名をつられていただくこと。
2. 貴団体に加入している構成員の皆さんに「アンケート」への協力を広報等で呼びかけていただくこと。

以上

コロナ禍で福祉に働くひとの声アンケートのQRコード・URL

(QRコード)



(URL)

<http://sosyaken.sakura.ne.jp/limesurvey/index.php/216475?lang=ja>

福祉労働者の皆様へ

全国福祉保育労働組合  
総合社会福祉研究所

# コロナ禍で福祉に働くひとの声アンケート

新型コロナウイルス感染拡大によって、暮らし・健康をまもるインフラとして、また、経済社会を支えるインフラとしての社会福祉がもつ社会的役割が明らかとなりました。

そこで、社会福祉現場ではたらく皆様にご協力いただき、コロナ禍にあつて社会的・基本的インフラとしての社会福祉の労働条件が保障されているかどうかを調査し、実態を把握したいと考えております。

調査の結果は、今後の社会福祉の拡充・改善に活用させていただきます。

ご協力のほど、よろしくお願い致します。

※本アンケートは、途中で保存することができます。

アンケート画面右上に「あとで続きをする」ボタン（スマホの方は、右上のアイコンをクリック）をクリックし、【保存された名前】、【パスワード】の入力をおこなってください。中断したところからアンケートを続行するには、アンケートのはじめの画面の右上にある「未完了アンケートの読み込み」ボタン（スマホの方は、右上のアイコンをクリック）をクリックし、先の【保存された名前】、【パスワード】を記入してください。

※本アンケートへの回答の完了は、3月末日までをお願いいたします。

## 問い合わせ先

総合社会福祉研究所 事務局（担当：高倉）

mail@sosyaken.jp

このアンケートに 54 の質問があります。

## 基本属性

あなたご自身の事柄に関しておたずねします。